

建設技術研究開発助成制度 について

国土交通省大臣官房技術調査課研究企画係長

ながた ひとし
長田 仁



はじめに

環境問題の認識の高まり，少子・高齢化，情報化，国際化，国民の価値観の多様化が進む中で，急速に変化する社会経済情勢に的確かつ早急に対応するために，建設分野の技術だけでその解決を図るだけではなく，建設以外の他分野を含めた連携を進め，広範な学際領域における建設技術革新を促進し，それらの成果を公共事業等で活用することを目的として，大学の研究者等に研究開発費を補助する「建設技術研究開発助成制度」が平成13年度に創設されました。

建設技術研究開発助成制度は，大学の研究者等から課題を募集し，評価委員会において課題の評価を行った上で優れた課題を採択して補助金を交付する競争的資金制度です。

ここでは平成14年度の建設技術研究開発課題の公募状況について紹介します。



建設技術研究開発課題の公募の概要

(1) 公募対象分野

平成14年度には以下に示す研究開発のうち，いずれかに該当する研究開発課題を公募の対象としました。

一般分野

① 安全で豊かな住宅・社会資本整備に資する研究開発

災害に強く安全で，美しい日本の再生と都市の再構築等による質の高い生活の基盤創成など，住宅・社会資本整備のための研究開発

② 環境問題解決のための研究開発

地球環境問題の解決，化学物質の環境管理，循環型社会の構築および自然共生型社会の構築のための研究開発

③ 住宅・社会資本整備のためのソフト・ハードの情報技術推進に資する研究開発

住宅・社会資本に係る高度情報化技術および生活者とのコミュニケーション技術などの人文・社会科学と連携したソフト技術の推進に資する研究開発

総合技術開発プロジェクト関連分野

① 自然共生型国土基盤整備技術の開発に資する研究開発

水循環や生態系の回復・再生を通じて流域圏の観点からの自然共生型都市再生を実現していく国土整備プログラムを開発することを目的に実施する総プロ「自然共生型国土基盤整備技術の開発」の推進に資する以下の研究開発

・環境中における化学物質等の変容メカニズムに関する研究開発

公共水域中に放出された各種の病原体・化学物質が受ける作用や、その作用に影響を与える因子の解明により、流域圏・都市の水環境再生のための基礎的知見の一層の向上に資する研究開発

・汚濁負荷低減のための浄化手法に関する研究開発

都市・農地等における雨水排出による面的汚濁源の制御のため、湿地など自然の機能を活かした浄化機構を強化・補完する浄化施設・システム等の開発により、流域圏・都市の水環境への汚濁負荷の一層の低減に資する研究開発

② 社会資本ストックの管理運営技術の開発に資する研究開発

今後の土木構造物・建築物・住宅等の社会資本ストックの管理運営について、環境および財政面の厳しい制約下で、ストック維持・活用型への本格的な転換を図るため、社会資本の戦略的なストックマネジメント計画技術を開発することを目的に実施する総プロ「社会資本ストックの管理運営技術の開発」の推進に資する以下の研究開発

・耐用年数に関する高信頼性の定量化手法に関する研究開発

社会資本ストックの耐用年数の精緻な定量的予測を行うために、土木構造物・建築物を対象として広範囲に適用が可能な、高信頼性の手法の開発により、戦略的なストック・マネジメントのための基礎的知見の一層の向上に資する研究開発。

(2) 交付申請者の資格

補助金の交付を受けることができる者は、以下のいずれかに該当する者です。ただし、研究開発の実施に当たり、これらに該当しない者の協力を受けることを妨げるものではありません。

- ・ 大学等の研究機関の研究者
- ・ 研究を目的とする公益法人または所属する研究者
- ・ 国土交通大臣が適当と認める法人または所属す

る研究者

(3) 課題評価の体制

研究開発課題の公募テーマに係る検討、応募終了後の採択課題の検討および研究開発成果の評価は、次ページの学識経験者等からなる建設技術研究開発助成制度評価委員会において行います。

3 課題の採択について

平成14年4月1日(月)から4月30日(火)の間に、研究開発課題の公募を実施したところ、84件の応募があり、技術研究開発助成制度評価委員会において審査の結果、次ページの6課題の採択を決定しました。

4 おわりに

建設技術研究開発助成制度は科学技術基本計画(平成13年3月30日閣議決定)で計画期間中に倍増を目標としている競争的資金制度の一つであり、競争的資金制度については総合科学技術会議において先般、「競争的研究資金制度改革について中間まとめ」がとりまとめられたところです。「競争的研究資金制度改革について中間まとめ」においては、競争的資金の活用により研究機関の運営の活性化、若手研究者の自立、優れた人材の育成、公正かつ透明性が確保された評価システムの確立等を図ることがうたわれています。

今後、建設技術研究開発助成制度についても一層の拡充や評価システムの整備等に努めて参ります。

なお、ここで紹介した建設技術研究開発助成制度の募集、採択については大臣官房技術調査課のホームページに掲載しています。(<http://www.mlit.go.jp/tec/index.html>)

建設技術研究開発助成制度評価委員会委員名簿

委員長	濱田 政則（早稲田大学教授）
副委員長	村上 周三（慶応義塾大学教授）
委員	稲村 肇（東北大学大学院教授）
”	小谷 俊介（東京大学大学院教授）
”	柏原 士郎（大阪大学大学院教授）
”	嘉門 雅史（京都大学大学院教授）
”	神崎 正（大成建設 株 技術センター土木技術開発部長）
”	小松 利光（九州大学大学院教授）
”	西川 孝夫（東京都立大学大学院教授）
”	長谷見雄二（早稲田大学教授）
”	前川 宏一（東京大学大学院教授）
”	三木 千壽（東京工業大学教授）
”	森地 茂（東京大学大学院教授）
”	吉野 博（東北大学教授）

（以下敬称略，五十音順）

【一般分野】

研究開発課題名（概要）	交付申請者名
<p>ペンシルビルの連結による街並み再生手法の研究 （概要）</p> <p>既存または新設のペンシルビルを連結することにより，災害安全性，空間効率および街並み景観の向上を実現し都市を再生するための効果的な連結手法，構造システム，設備システムを実現するための方策を提案する。</p>	千葉大学工学部デザイン工学科 講師 安藤 正雄
<p>バルコニー一体型ソーラー利用集合住宅換気空調システムの開発 （概要）</p> <p>自然エネルギーを利用した，省エネ，全室快適，健康的な集合住宅換気空調システムの開発を行う。</p>	東北大学大学院工学研究科 助教授 持田 灯
<p>室内化学物質空気汚染の事前評価と健康影響防止技術の開発 （概要）</p> <p>建物室内の揮発性有機化合物などによる空気汚染の事前予測評価手法，空気汚染メカニズムとその予測手法の確立，最適濃度低減方法選択法を開発するため，空气中的化学反応メカニズム，化学物質発生量予測，要素技術による濃度低減効果などについて研究を行う。</p>	東京大学生産技術研究所 教授 加藤 信介
<p>地上測量ゼロを可能にする航空測量機器およびソフトの研究開発 （概要）</p> <p>地上測量を限りなくゼロに近づける航空測量機器およびそのソフトを開発するため，高性能光学機器，記録装置，基本計測測図化機能，画像作成機能などについて研究を行う。</p>	東京大学空間情報科学研究センター 教授 柴崎 亮介

【総合技術開発プロジェクト関連分野】

研究開発課題名（概要）	交付申請者名
<p>環境中における雨天時下水道由来のリスク因子の変容と動態 （概要）</p> <p>都市域の雨水時汚濁問題に関連して，化学物質と病原微生物の発生源とそれらの受水域における環境動態を調査し，汚濁対策評価に必要な負荷量算定やリスク評価手法を提案することにより，安全で快適な親水空間を創出することに寄与する。</p>	東京大学大学院工学系研究科 教授 古米 弘明
<p>社会基盤施設の高精度情報化診断・寿命予測技術に関する研究開発 （概要）</p> <p>社会基盤施設の高精度情報化診断・寿命予測技術を開発するため，レーザー計測装置やデジタル画像計測システム，寿命予測ハイブリッドシミュレーションシステムなどについて研究を行う。</p>	東京大学大学院工学系研究科 助教授 阿部 雅人